

卓話

平成 27 年 3 月 3 日

『 ふるさと 』

米山奨学生 陳 碧霄様



Welcome to 淮安!!!



神話伝説時代から始めた歴史

- 淮安の歴史は淮河(淮水)と切り離せない。伝説では、大禹*は淮水の治水を行い永く安定させたという。秦代には淮安県が置かれ、現在の淮安市に至る2000年の歴史の始まりとなった。

淮河(わいが:中国第三の大河)



*禹(う、紀元前2070年頃)は中国古代の伝説的な帝で、夏朝の創始者。名は、文命(ぶんめい)、大禹、夏禹、戎禹ともいい、姓は姒(じ)、夏王朝創始後、氏は夏后とした。

繁栄的な過去

- 明清代になると淮安は治水、漕運、製塩行政の中心地とされ南河総督と漕運総督が設置され、水運と製塩により最盛期を迎え、揚州、蘇州、杭州と並ぶ大運河上の「四大都市」と呼ばれるまでになった。



漕運総督衙門の建物(淮安)

交通便利な都市



夜景色一市内



旧商業中心

新商業中心

旧商業中心

新商業中心

清江浦(市内)



600年歴史を持ち、昔は有名な、繁栄の交通中心の町、今はレストランの町

清晏園(市内)



600年歴史を持ち、明代から衙門の倉庫の一部で、清代の時、戸籍を管理する衙門になった。中国の唯一の完全に保存したの衙門に属する園林。



左上:周恩来記念館
右上:周恩來の旧居
左下:吳承恩の旧居

鉄山寺自然保護区



- 鉄山寺は東漢末年(紀元前117)に建てられ、明代の時、14の寺院、千人を超えた僧侶を持ち、蘇北の"小九華"と言われた。しかし、清代末年、戦争の壊れ、今は再建中。
- 鉄山寺自然保護区は江蘇省の保存性が一番いい、面積が最大の野生動物、植物の公園、40種類動物、170種類鳥、280種類珍しい植物、800種類薬方、発音が絶滅の危機がある種である。
- 中国科学院展望台もここで設置。

慈雲寺(市内)



慈雲寺は明代万歴43年(1615年)に建てられた。清代の高僧——玉琳法師がここで布教をしていた時、遷化し、肉身仏になった。中国の歴史では、唯一の肉身仏になった国師。玉琳法師のミイラが文革の時、埋められ、行方不明になった。慈雲寺は戦乱により、2回壊れ、2回再建した。今の慈雲寺は没落した。

金湖荷花蕩



唐代から、蓮の花の名所で、今は、300種類りの蓮を持ち、世界で一番大きい、品種が一番多い蓮の花の公園になった。

鉢池山公園



江蘇省第四回園林博覧会の場所でもあったが、淮安の最大な公園。最古の記録は唐代、道教の"七十二福地"の一つとされた。伝説による、周代の周公子禽がここで、泉の水を使って、不死不老の薬を出来上がつて、仙人になった。

鎮淮楼



800年前の北宋年間建てられ、清代、淮水の災害を鎮めるため、鎮淮楼の名を付けた。今は博物館になり、淮安の代表的な建物になった。

中国南北分界線(市内)



私の母校(市内)